

事業名	文化財保護事業
-----	---------

総事業費	2,352 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	芸術文化・文化財保護の充実
	基本事業名	文化財保護の充実・活用

② 実施 (Do)

事業の意図	郷土の宝である文化財の保存保護を図るため、調査・普及啓発に取り組み、文化財を後世に残し伝えていく	
事業の実績 と成果	取組内容	文化財の調査・保存保護・活用全般について、幅広い取組を展開している。
	成 果	未指定文化財について専門家による調査を行い、保存保護・文化財指定への取組を継続的に進めている。鉄砲館での文化財資料の展示、指定文化財説明看板の設置、文化財紹介の講話、文化財絵画コンクール等を積極的に行いながら住民の文化財に対する意識高揚を図った。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	文化財保護事業は、事業の幅・量とも膨大であり、優先順位を定めながら事業展開している。人員増と専門職員の配置が必要。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	調査・保存・活用など事業は多岐にわたるが、概ね当初の予定通り実施することができた。今後、市史編さん事業で把握した未指定文化財の整理を行う必要がある。個別の文化財の整備活用や普及啓発ツールの更新、鉄砲館での企画展及び学習会等に取り組みながら、学校・地域・観光など関係機関と連携して文化財の啓発活用を図っていく。指定文化財所有者の高齢化による管理の問題や寄贈を受けた下野敏見先生の資料整理及び保管場所が大きな課題である。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	文化財の調査・保存・活用全般について、状況を見極めながら、幅広い取組を展開する。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	文化財絵画コンクール作品展

事業名	種子島家住宅保存活用事業
-----	--------------

総事業費	4,218 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	芸術文化・文化財保護の充実
	基本事業名	文化財保護の充実・活用

② 実施 (Do)

事業の意図			①指定管理者制度のもと、一般公開を図りながら、重要な文化財として保存・保護を図る ②文化財の大切さや種子島(郷土)の歴史・文化に対する認識・興味を高める
事業の実績 と成果	取組内容	指定管理者制度のもと一般公開を実施。指定管理者との連携。3万円を超える修繕の実施。シロアリ駆除、浄化槽維持管理。	
	成 果	指定管理団体と連携を図り、住宅の保存公開活用を図っている。 入館者は、コロナ禍の影響を受けつつも、少しずつ回復傾向にある。 住宅の保存活用の充実のため、住宅の耐震に係る調査を行った。	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	指定管理団体の高齢化・会員数の減が、引き続き懸念事項である。住宅の保存活用のため耐震に係る改修を行う計画であり、長期休館の際の指定管理者との協議、準備が必要。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	入館者はコロナ禍から回復傾向にあり、指定管理者である「ひとつ葉の会」により適切な管理運営が行われている。文化財建造物として保存活用の充実を図るため、耐震に係る調査を令和5年度行った。調査の結果、耐震に係る改修が必要であり、改修に向けての準備や改修期間中の休館について指定管理者との協議が必要。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	文化財建造物としての保存活用の充実を図るため、耐震調査・耐震改修の実施。周知活動の充実。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	民俗行事の再現 (種子島 昔のひな祭り)

事業名	旧上妻家住宅保存整備活用事業
-----	----------------

総事業費	1,245 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	芸術文化・文化財保護の充実
	基本事業名	文化財保護の充実・活用

② 実施 (Do)

事業の意図		住宅の管理(現状を維持する)
事業の実績 と成果	取組内容	旧上妻家住宅修理方針検討委員会設置・委員会を開催し今後の住宅及び外構の修理改修計画の協議を行ない、一定の方針を定めた。住宅の維持管理、関連資料調査・整理・公開。
	成果	住宅及び住宅周辺の清掃を随時行い、専門家の指導助言を受けながら住宅の現状維持に努めた。旧上妻家住宅修理方針検討委員会にて、住宅及び外構の修理改修計画の協議を行ない、一定の方針を定めた。上妻家関連史料については、将来の文化財指定を考慮しながら、調査・整理・公開に取り組んだ。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	住宅内及びその周辺の修理・改修方針の検証。上妻家史料の保存・調査・整理の充実。整理を終えた史料の保管場所の確保。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	住宅及び周辺の修理・清掃を定期的を実施し、専門家の指導助言を受けながら住宅の維持管理に努めた。旧上妻家住宅修理方針検討委員会にて、今後の住宅及び外構の修理改修計画の協議を行ない、一定の方針を定めた。上妻家関連史料は整理作業を行いながら、展示やイベント等で活用し普及啓発に取り組んでいく。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	修理方針検討委員会の開催、住宅及び周辺の清掃・管理。 上妻家関連史料の調査・整理・公開活用。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	清掃作業

事業名	文化財保存活用地域計画策定事業
-----	-----------------

総事業費	542 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	芸術文化・文化財保護の充実
	基本事業名	文化財保護の充実・活用

② 実施 (Do)

事業の意図	課題を把握し、その解決策を踏まえた、保存と活用の計画を策定する	
事業の実績 と成果	取組内容	協議会開催、専門家調査、データ整理、市史編さん事業との連携、地域計画(案)の執筆、文化庁協議、県協議(随時)
	成 果	市企画課(市史編さん事業)や文化庁、県などと連携を図りながら、地域計画(案)の執筆に取り組み、章立て概要などはおおむね固めることができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	コロナ禍のため、専門家による文化財基礎調査が中止延期となるなど計画作成に影響が生じたため、文化庁と協議し計画の文化庁認定を1年先送りし、令和6年12月とした。協議会での委員の意見を考慮しながら、未完部分の執筆や編集校正を職員全員で対応しながら、最終計画素案の作成を急ぐ。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	計画の基本的な構成は、これまでの文化庁協議を経てほぼ固まっているが、細かい部分の原稿執筆や編集が未完である。今後の課題としては、3月の協議会で委員から出された意見を計画に反映させ、職員全員で協力しながら、8月までに各種の諸手続きを終え、計画の最終素案を文化庁へ提出、12月に計画の文化庁認定を受けることである。また、認定後に計画の概要をまとめたリーフレットを制作し、市民への周知、普及啓発を図っていく。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	地域計画(最終素案)の完成、計画の文化庁認定を受ける。
-----------	-----------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	地域計画(案)の執筆業務

事業名	旧上妻家住宅公開整備事業
-----	--------------

総事業費	37,576 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	芸術文化・文化財保護の充実
	基本事業名	文化財保護の充実・活用

② 実施 (Do)

事業の意図	住宅の適切な保存、公開活用を図る	
事業の実績 と成果	取組内容	再編交付金交付申請(九州防衛局との協議)。住宅の耐震に係る調査実施。調査状況の一般公開。
	成 果	再編交付金を活用し、住宅の保存活用に向け当初の計画通り、住宅の耐震に係る調査を実施することができた。住宅の調査状況を公開し市民へ普及啓発を図った。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	住宅は痕跡調査の結果に基づきながら、創建当初の姿に可能な限り復元することとしている。復元には建築基準法に該当する部分があり、国・県との協議が必要である。また、痕跡調査で新たな事実が判明した場合、今後の修理計画等に変更が生じる場合がある。対象が文化財建造物であり、極めて専門性が高く、関係機関と連携をとりながら進めていく。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	計画どおり住宅の保存活用のため耐震に係る調査を行った。調査状況を市民へ公開し、普及啓発を図った。公開は引き続き継続していく。調査、保存修理、改修を今後進めていく予定であるが、調査で新たな文化財的価値が判明した際は、修理計画等の見直しが必要となってくる。対象が文化財であるため調査や図面作成などに時間を要し、専門家の指導助言や関係機関との連携が必要であり、課題の整理も複雑で時間がかかる。痕跡調査で文化財としての新たな価値が判明しつつあり、現行の国登録から市指定への格上げを検討していく。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	文化財の安心安全な公開活用に向けた調査。外構の調査、修理の実施。住宅の普及啓発。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	痕跡調査

事業名	市内遺跡発掘調査等事業	総事業費	1,276 千円
-----	-------------	------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	芸術文化・文化財保護の充実
	基本事業名	文化財保護の充実・活用

② 実施 (Do)

事業の意図	遺跡の性格・位置づけを調査し、郷土の歴史を明らかにしながら、郷土の宝として後世に伝えていく	
事業の実績 と成果	取組内容	緊急の試掘調査調整、発掘調査の実施、事業報告書作成
	成 果	当初予定していなかった、農政事業に伴う鬼ヶ野遺跡の試掘調査調整を行った。旧上妻家住宅の発掘調査を行い、創建当初の様相を知る手がかりとなった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	突発的な開発事業に係る埋蔵文化財保護の調整及び学術発掘調査の実施
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	緊急の開発事業に係る埋蔵文化財の保護のため、試掘調査の調整を行った。旧上妻家住宅の創建当初の様相を把握するための発掘調査を行い、貴重な情報を得ることができた。今後も引き続き、突発的な開発事業と埋蔵文化財の調整や学術的な発掘調査を実施し、埋蔵文化財の保護・普及啓発を図る。発掘調査業務に従事する職員の配置育成が課題である。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	発掘調査の実施、整理作業、事業報告書作成、出土遺物等の公開活用
-----------	---------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	調査状況

事業名	発掘調査(県営農政事業:西之表創生地区)
-----	----------------------

総事業費	1,601 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	芸術文化・文化財保護の充実
	基本事業名	文化財保護の充実・活用

② 実施 (Do)

事業の意図	埋蔵文化財と開発事業の調整を図る	
事業の実績 と成果	取組内容	整理作業の実施。事業主体者である熊毛支庁農村整備課との協議(整理作業に係る予算措置、整理作業期間の調整)
	成 果	当初の計画通り出土遺物等について、整理作業を行った。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	遺跡や出土遺物の特徴について考察しながら、整理作業を進め報告書を執筆し刊行する。専門性の高い業務であり、業務に従事できる職員の配置が必要。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	当初の計画通り整理作業を行うことができた。引き続き業務のスケジュール管理に留意しながら、令和7年3月に発掘調査報告書を刊行する。課題は、発掘調査から報告書作成までの一連の業務に従事できる職員の配置が必要。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	発掘調査報告書の刊行。出土遺物の管理、保管、公開活用。発掘調査担当者の養成。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	令和5年度実測業務委託石器(22点)

事業名	地域振興推進事業(文化財先進技術フォトグラメトリ導入事業)
-----	-------------------------------

総事業費	1,306 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	芸術文化・文化財保護の充実
	基本事業名	文化財保護の充実・活用

② 実施 (Do)

事業の意図		文化財の3D制作ができるようになる。
事業の実績 と成果	取組内容	制作環境の整備、技術習得講習会、文化財撮影、3Dモデル制作、作品検証、公開活用。
	成 果	技術取得のための講習会を実施し、多数の3Dモデルを制作した。導入したデジタルサイネージで、火縄銃などの3Dモデルを展示公開し来館者から好評を得ている。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	3Dモデル制作は複雑な技術を要するため繰り返し経験を重ね、作品の制作が一過性にならないよう取り組む必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	3D制作技術の取得に努め、多くの3Dモデルを制作し、鉄砲館で公開することができた。今後、制作技術を職員全員が理解し継続して取り組む必要がある。また、制作した3Dモデルの新たな公開方法やデータ管理についての検討が必要である。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	令和5年度(2023年度)で事業完了
-----------	--------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	鉄砲館での3Dモデル展示公開

事業名	種子島家住宅耐震事業【再編交付金】
-----	-------------------

総事業費	5,346 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	芸術文化・文化財保護の充実
	基本事業名	文化財保護の充実・活用

② 実施 (Do)

事業の意図			本市の歴史にとって重要な文化財(市指定文化財種子島家住宅)の保存活用のため、調査を行い、市民に対し文化遺産を広くPRすることで、教育や文化の振興を図るものである。
事業の実績 と成果	取組内容	再編交付金交付申請、現況図面作成、耐震調査、調査内容記録、耐震計画、現場監理全般	
	成 果	月窓亭の保存活用のため調査を行い、課題や改善策等を把握する事ができた。	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	対象が文化財建造物であるため、調査受託者との綿密な打ち合わせや作業内容の確認及び事業実施に向けてのスケジュール調整や指定管理者側との協議が必要。建築専門家及び庁内の建築・土木技師の協力や連携がないと事業の進捗に影響がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	月窓亭の耐震に係る調査を行い、今後の保存活用の課題や修理改修事項を把握する事が出来た。今後も引き続き指定管理者や文化財建造物専門家と連携しながら、文化財である月窓亭の保護を図り、広くPRしていく。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	耐震調査・耐震対策を実施し、文化財である月窓亭の保存保護を図る。
-----------	----------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	月窓亭耐震に係る地盤調査状況

事業名	文化財看板多言語化事業【再編交付金】	総事業費	33,000千円
-----	--------------------	------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	芸術文化・文化愛保護の充実
	基本事業名	文化財保護の充実・活用

② 実施 (Do)

事業の意図		本市の文化財の保存活用のため文化財看板の多言語を行い、市民をはじめ多くの人に対し本市の文化遺産を広くPRする。
事業の実績 と成果	取組内容	再編交付金交付申請、資料収集・整理、外国語コンテンツ作成(5言語)、音声データ収録編集(5言語)、QRコードシート作成 QRコードシート看板貼付け、データ管理サーバーの管理
	成果	132基の文化財看板の多言語化(英語・中国語・広東語・韓国語・ポルトガル語の5言語)を実施した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	多言語化に際して文化財専門用語の翻訳、翻訳原稿の作成、データ管理サーバの構築など受託業者との綿密な協議が必要。多言語化看板の利活用を図るため、様々な活用手法の検討。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	文化財看板の多言語化を図り、市民をはじめ多くの人に対し本市の文化遺産を広くPRしていく。今後の課題は多言語化看板の利活用の促進、QRコードシート状態の定期的な確認作業などがある。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	QRコードシート 132枚 予備264枚(132件×2枚) 作成合計数 396枚

事業名	種子島家墓地調査事業【再編交付金】	総事業費	12,650 千円
-----	-------------------	------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	芸術文化・文化財保護の充実
	基本事業名	文化財保護の充実・活用

② 実施 (Do)

事業の意図	本市の歴史にとって重要な文化財(市指定文化財種子島家墓地)の保存保護活用のため、調査を行い、市民に対し文化遺産を広くPRすることで、教育や文化の振興を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	再編交付金交付申請、墓地の平面測量、墓地及び周辺の地形測量、墓地内石造物配置図の作成、墓石の清掃、墓石カルテ作成、墓石実測 空中写真撮影、調査状況報告書作成、現地説明会の実施
	成 果	御拝塔墓地の調査を行い、保存・保護・活用のための基礎資料を得ることができた。調査状況を公開することで市民へ文化財を広くPRすることができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	専門性の高い業務のため、業務に対しての適切な判断や、受託業者へ調査内容についての確な指示を行う職員の配置。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	調査を行い保護の基礎資料を得ることができた。調査状況を市民へ公開し郷土の文化財の普及啓発を行った。 今後、令和6年度は御坊墓地の調査を行い、令和7年度に「種子島家墓地(御拝塔墓地・御坊墓地)」として、調査の成果をまとめた調査報告書を刊行し、種子島家墓地の記録保存を図る。調査結果に基づき、保護の方針を検討しながら、市民に対し文化財を広くPRしていく。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	引き続き、本市の歴史にとって重要な文化財である、種子島家墓地「御坊墓地」の保存保護活用のため調査を行い、市民に対して郷土の文化財を広くPRし、教育や文化の振興を図る。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	現地説明会の様子

事業名	上妻家史料調査目録作成事業【再編交付金】
-----	----------------------

総事業費	8,415 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	芸術文化・文化財保護の充実
	基本事業名	文化財保護の充実・活用

② 実施 (Do)

事業の意図	本市の歴史にとって重要な文化財(上妻家史料)の保存保護活用のため、調査を行い、市民に対し文化遺産を広くPRすることで、教育や文化の振興を図るものである。	
事業の実績 と成果	取組内容	再編交付金交付申請、上妻家史料の調査・整理、史料の写真撮影、史料目録の作成、目録の公開。
	成 果	上妻家史料の保護及び公開の基礎となる史料目録を作成し、公開した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	専門性の高い業務のため、史料内容の把握及び受託業者への確かな指示を行う職員の配置が必要。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	上妻家史料の課題であった保護及び公開の基礎となる史料目録を作成公開し、郷土の文化財をPRすることができた。引き続き、特に重要な史料は詳細な調査をすすめ、文化財指定を考慮していく。また、鉄砲館で史料の公開展示を行い、郷土の文化財の活用・普及啓発に努めていく。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	令和5年度(2023)事業完了
-----------	-----------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	鉄砲館での史料調査状況